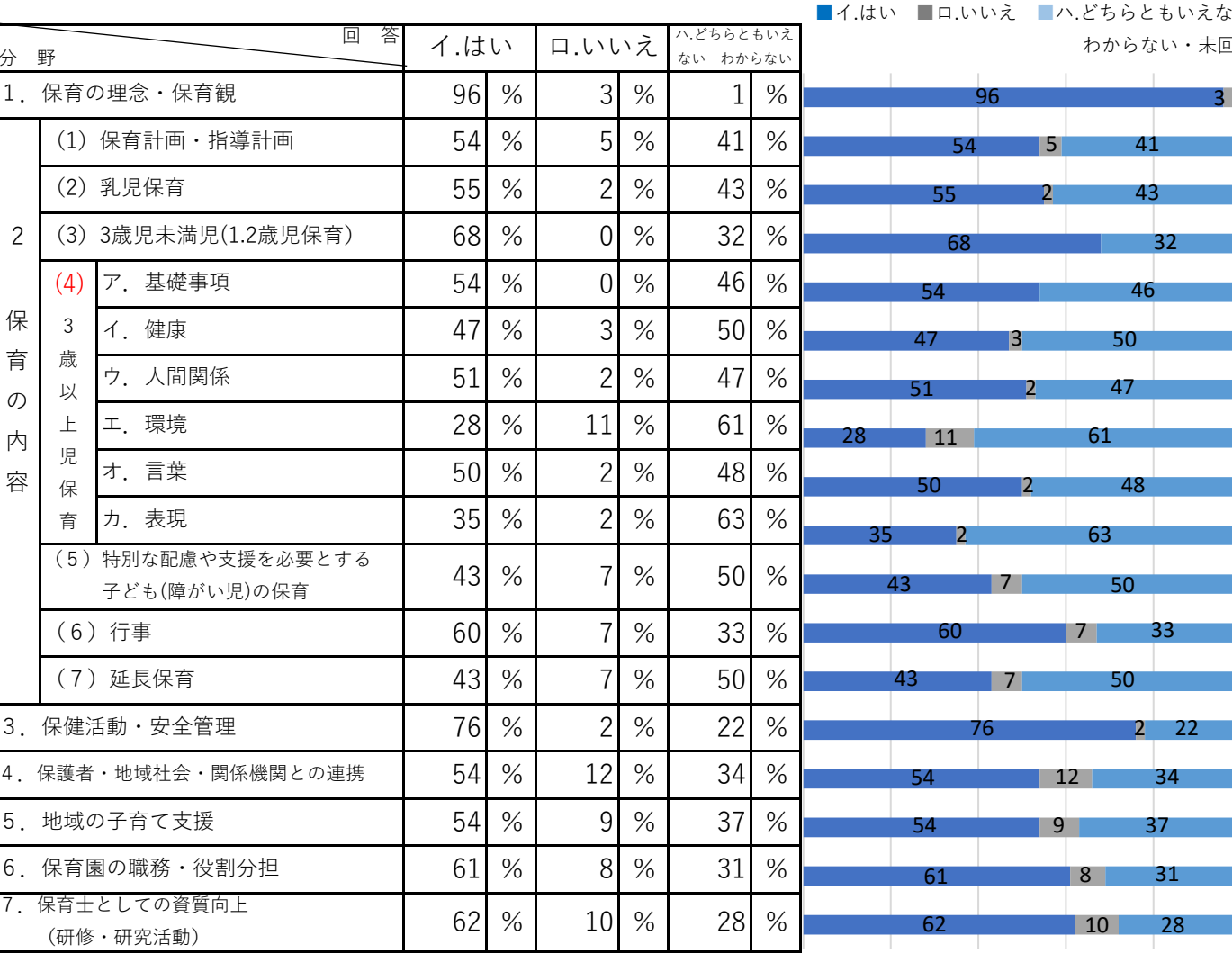


令和 6 年度（2024年度） 月出保育園 自己評価結果

保育所保育指針では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」ことが明記されています。このことに基づき、月出保育園では毎年自己評価を実施しております。評価の結果を踏まえ、今後もより良い保育を提供できるよう努力していきます。



【附則】 令和 6 年度の自己評価 対象保育士数 15 名 （設問により担当クラスでない場合は無回答もあり。「ハ」に含めている）

【園全体の評価】

令和 6 年度も前年度と同じチェックリストを使用。各々それぞれの評価を前年度と比較する事も含めて行えたように思う。未回答だった場合には「ハ」に含めたが、今年度は例年よりパート職員の比率が高く、担当クラスを持たずフリーであったり、保育計画を立てたりする立場にないなどといった理由で「ハ」の比率が上がってしまった事を申し添えておく。また、産休や転居により長期休暇もしくは退職が複数名あり、年間通して受け持っていないので答えられないと判断したケースもあったようだ。

以上の理由から「3歳以上の保育」は特に「イ.はい」の比率が下がっているが、「ロ・いいえ」の比率は低く、担当している職員がそれぞれ責任と課題意識をもって取り組んでいる事の表れではないかとも判断した。

全体としては職員それぞれに自己を振り返り、自身としての課題、園としての課題を考える事が出来たのではないと思う。

【来年度の課題】

- ・前年度と同じく、自己評価の結果を全職員で情報共有し、課題点・改善点を見出していくための話し合いを継続していく。
- ・新採用・中途採用の職員もいるので園としての方針・方向性を確認し合い、指導計画や日々の保育に反映させていくようにする。
- また、意見交換を密に行い、新たな意見も積極的に取り入れていくよう心がける。
- ・園児の出欠連絡、家庭への保育内容・連絡事項の発信等、保育業務の I C T 化を更に進めていく。
- ・キャリアアップ研修も含めた研修受講の機会を持ち、研鑽の場の確保に努める。園内研修に関しても職員それぞれの意見を参考に内容の見直しやスキルアップを図る。